

国立大学法人 長岡技術科学大学
令和3年度第5回経営協議会議事要旨

日 時 令和3年11月25日（木）14時00分～15時43分
【Zoomミーティングによるオンライン会議】

出席者 鎌土議長、小花委員、合田委員、関委員、谷口委員、トラン委員、山本委員、和田委員、梅田委員、秋山委員、武田委員、高橋委員、井原委員（議事の表決委任による出席 天羽委員、池田委員、磯田委員）

陪席者 日下部監事、野本監事、大石附属図書館長、長岡市新沢政策企画課長

事務局 事務局次長（総務担当）、事務局次長（特命担当）、大学戦略課長、財務課長、監査室長、企画・広報室専門員、総務課専門員、財務課専門員、学務課専門員、企画・広報室専門職員、財務課予算係長、総務課総務専門職員、総務課総務係長

議事に先立ち、鎌土議長から令和3年度第4回議事要旨(案)について説明があり、案のとおり承認した。

審議事項

1. 長岡技術科学大学の創設の趣旨・理念・将来ビジョンについて

鎌土議長から、資料1に基づき説明があり、審議の結果、一部修正をすることで、これを承認した。なお、修正に関しては議長に一任することとした。

主な質疑応答は以下のとおり。（○：学外委員からの質問、意見等 ●：大学からの回答）

○メジャー・マイナーについて伺いたい。

●メジャー（自己の専門分野）に加えてマイナー（他の専門分野）を体系的に学ぶこと。

○グローバル化を推進する活動は行われていると理解しているが、共通言語の英語力を上げていく必要がある。英語力を上げるための活動について伺いたい。

●英語教員を増員し、英会話の授業を充実させる。また、TOEICの試験対策の充実など、学生の英語力を高めることはこれからも継続し、海外に挑戦するマインドを持てる環境を作ることも進めたい。

●来年4月に長岡技術科学大学の創設の趣旨・理念・将来ビジョンを公表する。それまでに、将来ビジョンに基づいた6年間のロードマップを作成し、毎年度評価を行い報告したい。

2. 令和2事業年度目的積立金について

秋山委員から、資料2-1～2-3に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

3. 令和3年度長岡技術科学大学補正予算の編成について

秋山委員から、資料3-1～3-3に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

○東京のサテライトキャンパスの役割について伺いたい。

●現在、2か所にサテライトキャンパスを持っており、それぞれの役割は、

- ・システム安全工学専攻の（社会人）受講生の講義を実施。
- ・高専との連携で活用。

システム安全専攻の受講者が東京近郊に多いため、講義室として利用している。また、高専との連携活動で産学連携コーディネータが拠点として活動している。これらを1か所に集約することで経費の節減もできる。

○令和2年度決算比で人件費が増えた要因はなにか。

- これまで教員の補充を抑制していたが本年度から採用を増やした。
今後6年間で増やす方向を考えている。

報告事項

1. 改組に伴う学則の一部改正について

和田委員から、資料4に基づき、報告があった。

○博士後期課程は5名の定員増になっているが、定員は満たせるのか。

- 現状では定員を超えているところもあり、定員割れは起きないと考えている。

2. 第4期中期目標・中期計画（素案）について

和田委員から、資料5に基づき、報告があった。

以 上